

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	東員町
取組の名称	・えんどうまめのさやむき体験
実施時期	令和 5 年 5 月
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	
取組内容	<p>東員町の幼稚園・保育園児、小学生を対象に、5月25日に使用するえんどうまめの実をさやからとりだす体験を行いました。東員町は給食センターで給食を作っているため、自校とは違い、なかなか給食を身近に感じる機会が少ないのが現状です。また、あまり食材に触れる機会が少ない子どもたちに、えんどうまめのさやむき体験を行うことで、給食や食べ物に興味を持ってもらいたいと思い行いました。</p> <p>【各園・学校からの感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで体験したことで、えんどうまめに興味を持ち、給食の時でもまめだけ食べてしまうくらいでした。 ・給食センター見学と近い日程で取り組んだので、直接調理員さんに渡すことができたり、見学が給食につながる場面があったりしてよかったです。子どもたちの給食に関する興味、関心が高まりました。 ・まめを観察し、さやえんどうはペラペラ、えんどうまめは丸いなど形の違いに気づくことができました。 ・自分たちが食べるものを実際に手に触れ、感触や硬さ、野菜のつくり等、様々なことを感じるようになりました。 ・自分のむいたまめが給食にできる喜びを感じるようになりました。 ・「できる、できる」ととっても楽しくさやむき体験ができました。 ・小さな子がさやむきをしてくれたことを中学生が知り、中学生の心の中に給食を通して幼・小とのつながりが生まれたことがよかったです。

【取り組みを通して】

給食センター独自でご飯を炊いている強みを生かしてまめごはんに取り組めたのがよかったです。また、東員町の取り組みである保育園・幼稚園・小学校・中学校の連携を生かして、どの年齢の子も給食を通してつながりあうことができたと思います。

まめごはんは、苦手な子が多く残食も多いですが、今回の取り組みを通して、自分たちがむいたまめを喜んで食べている姿が見られ、例年と比べて残食も少なかったです。

自校とはちがい、給食センター規模で取り組むことで、まめの量や学校数が多く大変でしたが、町内の子どもたちみんなが味わい、取り組みを通してつながりあうことができてよかったです。

